

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	那須烏山市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	那須烏山市観光交流創造事業	総事業費	1,485,370	1,888,622	1,994,052	1,560,000	2,090,000	9,018,044
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	741,916	0	0	2,741,916
		うち県交付金	500,000	500,000	370,958	0	0	1,370,958
2	那須烏山市ふるさと応援事業	総事業費	1,694,236	1,586,309	2,800,000	2,800,000	2,800,000	11,680,545
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	0	0	0	2,000,000
		うち県交付金	372,104	500,000	0	0	0	872,104
3	那須烏山市木の駅プロジェクト実行委員会	総事業費	2,237,419	1,815,569	2,100,000	1,600,000	1,600,000	9,352,988
		うち市町支出額	479,926	305,505	0	0	0	785,431
		うち県交付金	62,390	116,518	0	0	0	178,908
4	那須烏山市民秋まつり実行委員会	総事業費			5,392,393	6,351,986	0	11,744,379
		うち市町支出額			3,000,000	3,000,000	0	6,000,000
		うち県交付金			0	1,500,000	0	1,500,000
5	地場産柚子を活用した商品開発による地域PR	総事業費	300,000	300,000	300,000	551,267	400,000	1,851,267
		うち市町支出額	0	0	0	500,000	0	500,000
		うち県交付金	0	0	0	250,000	0	250,000
6	ジオサイト「龍門の滝」の拠点整備とガイド内容のスキルアップ	総事業費					500,513	500,513
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					117,756	117,756
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,717,025	5,590,500	12,586,445	12,863,253	7,390,513	44,147,736
		うち市町支出額	2,479,926	2,305,505	3,741,916	3,500,000	500,000	12,527,347
		うち県交付金	934,494	1,116,518	370,958	1,750,000	117,756	4,289,726

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	ジオサイト「龍門の滝」の拠点整備とガイド内容のスキルアップ事業
事業主体の名称	なすからジオの会 プチューロ
代表者の名称	会長 酒井 豊三郎
事業主体の所在	那須烏山市大金252-10
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 那須烏山ジオパーク構想推進に賛同し、その推進に協力することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成29年1月15日</p> <p>・構成員等: 13名(那須烏山市内及び市外に居住し、活動趣旨に賛同する者)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須烏山市では、特徴的な地形・地質などの自然遺産を活かしたジオパーク構想が進められている。しかし、近年の社会情勢やライフスタイルなどの変化の中で、大規模な土地開発等(例えば景観を無視した大規模な太陽光発電などの開発等)により、地域を特徴付ける地形・地質・生物などの自然的資源を保存・継承していくことが危ぶまれている。また、観光客が市内を周遊する際により楽しむための案内ガイド団体がいるにもかかわらず、高齢化等によりガイド員が不足している。</p> <p>特に「龍門の滝」及び周辺地域については、観光資源的には秀でていながらもかかわらず、また来てみたいと思っただけのような企画・イベントがなく、リピート率の向上に繋がっていないことに加え、本来強みにしなければいけない地域資源が十分に活かしきれず、通過型の観光となっている。地域資源を組み合わせた体験・交流を中心とした滞在時間の長い着地型観光に向け、四季折々の観光ツアーを企画し誘客を行うなど、新たな仕組みの構築が必要である。</p> <p>そのような中で、事業主体は市内種々のイベントでジオに係わるブースを開設してジオパークの啓発活動を続けている。今後ジオパーク活動の見どころであるジオサイト、特に龍門の滝周辺での観光案内を実施し市の魅力を観光客に伝えながら案内ガイドとしての自己研磨を行い、今年度行われる龍門ふるさと民芸館の改修により集客が増えることを見込み、ガイドの需要は増えると思われるため、各関係機関との連携を図り案内ガイドの周知を図りながら、取り組みを続けていく。</p>
事業目的	<p>プチューロの拠点となる案内所(インフォメーション)の開設を行い、拠点から始まるガイド内容(経路含む)の精製とガイド基準の構築をする。</p> <p>ガイド要請の受付、特に予約と当日受付の取り扱い基準の制定及び高齢化により不足しているガイド者の充足。</p>
事業概要	<p>案内所を運営する団体が安定した活動を継続できるまでに成長するには、実証検査を踏まえながら4年ほど経験を積むことが必要とされている。1年次は基盤整備、2年次は多様な試行錯誤、3年次は規範的な形を設定して運用試行、4年次は本格運用試行を実施する。今年度は1年次に相当し、7月には案内所を開設してガイドを開始する。</p> <p>【2年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 拠点となる建物の借上げと設備や周縁域の整備を行った。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 6/5拠点整備開始。7/25オープニングセレモニー、ガイド体験会</li> <li>▶ 市内パンフレット設置や化石の展示、龍門の滝の写真展示</li> </ul> </li> <li>② ガイド内容の標準規格の制定を協議した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光ガイド(184名)、観光客対応(318名)</li> </ul> </li> <li>③ 案内書(ガイドパンフレット)を作成した…経路図含む             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 作成枚数 1,000枚</li> <li>ジオパーク構想PR用缶バッジを作成した。</li> <li>▶ 作成個数 400個</li> </ul> </li> <li>④ 案内書(ブックレット)の作成準備を行った…写真入りの解説書</li> <li>⑤ ガイド団体および関連諸施設や機関と協議し、受付を含むガイドのあり方を調整             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市観光協会と連携することが出来た。</li> </ul> </li> <li>⑥ ジオパーク構想推進協議会と連携し担当可能なガイドの養成・拡充を図る             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍で養成講座の開催を見送った。拡充に関しても厳しかった。</li> </ul> </li> </ol> <p>※プチューロはジオパーク構想推進協議会が行う事業を補うため、市民自らが団体を形成し事業を実施するものです。事業内容は日本ジオパークネットワークが示す活動方針に準拠することになっており、「看板や案内所等の設置」「ガイドの配置や育成」といった項目も含まれます。</p> <p>【3年度～】 前年度の反省点を反映させ、上記取り組みを実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 本市への新しいひとの流れをつくる</p> <p>KPI: 観光入込数 H30年度 495,713人→R6年度 年間70万人以上【R1実績 457,681人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	1年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			①拠点の借上げと周辺整備 ②ガイド内容の標準規格制定 ③案内書作成 ④ブックレット作成準備 ⑤関係機関と連携し、ガイドのあり方調整 ⑥ガイドの養成・拡充		①ガイド内容の標準規格制定 ②ブックレット作成 ③関係機関と連携し、ガイドのあり方調整 ④ガイドの養成・拡充
事業費	0	0	500,513	500,513	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	0	0	500,000	500,000	0
うち県交付金	0	0	117,756	117,756	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	513	513	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	まちづくり課地域づくりグループ
担当者名	中島美由紀
電話	0287-83-1151
FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ジオサイト「龍門の滝」の拠点整備とガイド内容のスキルアップ事業	
対象年度	2	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	500,000	市交付金
事業収入	0	
自己資金	513	会費
計	500,513	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
賃金	265,000	264,487	0	513	アルバイト2名への賃金
消耗品費	50,757	50,757	25,378	0	事務用品
燃料費	2,240	2,240	1,120	0	拠点の電気代
手数料	3,890	3,890	1,945	0	ガイド地に捨てられている廃棄物処理代、コピー代
印刷製本費	85,000	85,000	42,500	0	ガイドパンフレット
通信運搬費	1,220	1,220	610	0	切手代
保険料	38,906	38,906	19,453	0	ガイド保険
使用料及び賃借料	53,500	53,500	26,750	0	拠点施設賃借料
	0	0	0	0	
計	500,513	500,000	117,756	513	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合